

平成23年度当初予算編成の基本的な考え方

1 予算編成方針

- (1) 統一地方選挙を控えたいわゆる「骨格予算」の編成
 - ・原則、政策的な主要・新規事業は6月補正で計上
 - ・県民生活にとって年度当初から必要・不可欠な主要施策等に限り計上

- (2) 県内景気情勢への的確な対応
 - ・県内景気の回復と円高への的確な対応
 - ・国の経済対策とも連携し、緊急性や政策効果の高い施策の機動的な実施

- (3) 行財政改革の一層の推進
 - ・歳出全般にわたる徹底した見直しなど、無駄を省いたスリムな行財政体制の構築
 - ・新たな行財政改革プランの検討内容を踏まえた行財政改革の推進

- (4) 国の予算編成への的確な対応
 - ・国の予算の組替えや補助金の一括交付金化などへの的確な対応
 - ・新たな経済・雇用対策への機動的な対応

- (5) 市町との連携
 - ・市町の状況等を踏まえた的確な対応と十分な情報提供

2 予算要求要領の概要

(1) 「経済活性化特別要求」の設定

厳しい経済・雇用情勢や円高の進行に対応するため、「経済活性化特別要求」を設定し、緊急性や政策効果の高い事業について、シーリング対象外として要求を認める。

(2) 「政策推進枠」の見直し

「福井新元気宣言」等の実現のため設けていた「政策推進枠」事業について、今回は原則シーリング対象とする。

特に3年超継続している事業については、ゼロベースから検証し、見直しを行うこと。

(3) 公共事業の選択と集中

不要不急な事業の抑制を図るとともに、道路や河川など既存社会資本の保全・長寿命化をさらに推進する。

(4) 事務事業評価に基づく見直しの徹底

県民益向上の観点から、成果主義に基づく事務事業の見直しを徹底して行い、新たな政策に充当する財源を捻出するとともに、施策の重点化をさらに推進する。

(5) シーリングの設定

①経常的経費（標準外経費）	90%以内（6月補正含む）
②政策的経費	90%以内（同上）
③投資的経費	国の予算（経済対策、一括交付金など）や地方財政計画等を踏まえ、予算編成時に決定

総務部財務企画課
担当：前田、高嶋
TEL (0776)20-0231
内線 2030、2031